



明日に向かって

喜びも悲しみも分けあって、支え合い 共に生きる社会の実現に向けて

「この地域の農林水産の振興について意見交換」



（地域県民局農林水産 豊沢順造部長 鱒ヶ沢町芦菀出身）

「しける海に、ハタハタがくる」（昔の人は言っていた、沢山きてほしい）

今年は、稲作もりんご生産も安定した価格で推移し、また高収益性の野菜生産についても農家の方々には順調な経営をなされているものと喜んでいるところです。

一方水産については主流魚種であるサケの不漁が続いていて、ヤリイカも、また初冬の味覚ハタハタも、一昨年も昨年も今年に期待を寄せているけれども、まだそのたよりが無い。このままでは漁業に携わる若者が益々いなくなる。国の責任、地方創生の一環として法を整備するなり対策を講じて頂きたいと思います。私も責任政党として県、国に事あるごとに働きかけていきます。



師走の海は今日も荒れている

青森県議会議員

工藤 兼光

皆様のご意見、ご要望をお寄せください。

〒038-2712 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字長平町字甲音羽山59-2
TEL 0173-72-1224 ・ FAX 0173-72-1233

討 議 資 料

「ガードレール破損基礎落下」

深浦町岩坂地区町内会長から、「ガードレール破損、基礎が落下している」との声が上がりました。現地調査したところ、この路線は県道柳田線でありますので、早速西北県民局地域整備部にその声を届けました。担当者からの回答は、改めて現地を確認しています。

まずは仮設としてガードレール脇にバリケード等を設置します。次に対策の検討を進め、順次修繕していく予定です。との回答を頂いているところですが、私も完成するまで注意深く見守っていきます。



「鱒ヶ沢町建石地区農道」

リンゴ生産盛んな地域、薬剤散布のため、スピードスプレーヤーが頻繁に通る道。



リンゴ畑や、野に山に(建石地区農道) 極端に狭いところが見て取れます。

下に小さな堰があり、狭い橋を渡る危険な道となっています。要望が令和元年、完成まで数年かかりました。理由は、弘前市との境界線にあたり、用地関係者の連絡など、これまでの苦勞に感謝いたします。

問1 青森りんご植栽150周年について

青森りんご植栽150周年記念事業の取組について伺いたい。

答① 青森りんご植栽150周年記念事業の取組としては、青森りんごの価値や魅力を再認識し、未来へつなぐため、記念式典や各種イベントの開催など、様々な企画を検討しています。

② 今年度は、キックオフとしてプレイベントを年明けの1月25日に開催するほか、アンバサダーに任命した本県出身タレントによる情報発信を行うことと
しています。



③ また、県民の気運醸成に向けて、先に作成した統一シンボルマークの活用を幅広く呼び掛けているほか、市町村や関係団体、民間事業者等ともタイアップした取組を展開していくこととしています。

④ 私としては、この150周年を契機として、生産、流通などの関係者はもとより、子供から大人まで多くの県民が一丸となって、「青森りんご新時代」を築いていきたいと考えています。



「青森りんごの歴史」

りんご原産国は中央アジア、中国を中心とした山岳地帯と考えられており、ここから世界各国へ伝播しました。私たちが現在食べている西洋りんごは明治4年日本に導入され、青森県には明治7年初めて紹介されたとのこと。つがる市には日本最古のりんごの樹があります。明治11年に植えられ樹齢146年のりんごの樹があり、「青森県指定天然記念文化財」に指定されています。



問4 生活習慣病の予防対策について

(1) 本県の脳血管疾患、心疾患及び糖尿病の死亡率について伺いたい。



答 令和5年人口動態統計では、本県の脳血管疾患による人口10万対死亡率は126.4で全国ワースト6位、同じく心疾患によるものは252.9で全国ワースト8位、同じく糖尿病によるものは20.6でワースト1位となっており、全国と比較して高い状況にあります。



(2) これらの疾病につながる高血圧症や脂質異常症等の予防に向けた県の取組について伺いたい。

答① 県では、高血圧症や脂質異常症等の予防に向け、塩分やエネルギー量、野菜量に配慮したメニューを提供する飲食店の認証や、県内の大学における野菜摂取を促すキャラバン等の実施、歩きやすい服装を紹介しながら運動を促進するイベントなどを実施してきました。

② また、離乳食期からの薄味の定着に向けた食生活改善推進員による乳幼児健診でのだしの試飲や簡単に野菜が摂取できるレシピの配布のほか、小学生とその家族を対象とした「ロゲイニング」と呼ばれる歩行イベントや、冬場の運動機会の増加に向けた「GPSスタンプラリー」を実施しています。



(3) 高血圧等の重症化予防のため、いわゆるクリニカル・イナーシャへの対策が必要と考えるが、県の見解を伺いたい。

答① 高血圧症、脂質異常症、糖尿病など自覚症状のない疾患の治療が十分に行われていないことを指す「クリニカル・イナーシャ」は、血圧測定値などが治療強化すべき基準を超えているにもかかわらず経過観察を続けようとする医療提供側の問題や、健診等で受診が必要と指摘されているにもかかわらず受診しない未治療者側の問題などが背景にあると言われています。

② 県では、本年3月に策定した第2期の「青森県脳卒中・心疾患対策推進計画」において、「クリニカル・イナーシャ」による不十分な疾病管理が継続しないよう、疾患についての知識の普及や医療従事者間での連携の強化、診療ガイドラインの浸透等を行うこととしており、各関係機関と連携して取組を進めていきます。



むつ市選出 自由民主党 井本 貴之 議員の一般質問

問6 がん検診の受診向上について

(1) 職場でのがん検診受診促進に向けた県の取組について伺いたい。

答① 県では、事業所におけるがん検診の導入を更に進め、従業員のがん検診が積極的に行われるよう、昨年度から「がん検診受診環境整備事業」を実施しています。

② 具体的には、事業所でがん検診を導入するための環境づくりについて、県が作成した説明動画の公式SNSでの配信、県内各地区の労働基準協会等を通じた県独自の分かりやすいパンフレットの配布や、職域団体が参加する会議等での説明により周知を図っているほか、個別の事業所へのがん検診相談員の派遣によりがん検診の導入を支援しています。



職場に「がん検診」を取り入れよう!

くわしくは動画をチェック!

動画① 「職場でがん検診を実施しよう」編
実施すべきがん検診の内容などについて解説します。

動画② 「市町村がん検診を受けよう」編
従業員に市町村がん検診を受けてもらうために必要なことについて解説します。

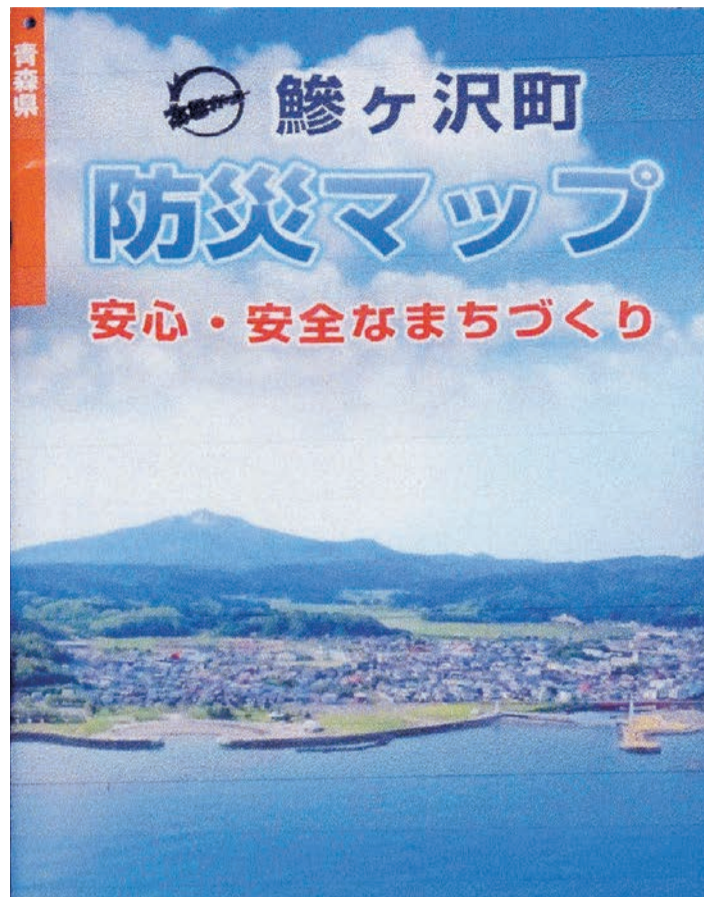
問4 県管理河川における防災・減災、国土強靱化対策について

(1) 県管理河川における治水対策について伺いたい。



三戸郡選出 自由民主党
和田 寛司 議員

答① 県では、気候変動に伴って激甚化、頻発化している大規模災害から県民の皆様



の命と暮らしを守るため、流域内のあらゆる関係者が協働して、ハード・ソフト一体となった対策を行う「流域治水」に取り組んでいます。

② ハード対策としては、近年浸水被害のあった中村川や馬淵川において実施している堤防整備に集中的に取り組むとともに、青森市の治水安全度を向上させる駒込ダム建設を着実に進めています。

③ また、ソフト対策としては、住民が自らや大切な人の命を守る行動が重要であることから、市町村が配布するハザードマップの基礎資料となる浸水想定区域図を順次作成しているところであり、これらのハード・ソフト対策にしっかりと取り組んでいきます。

「防災出前講座」

鯨ヶ沢町長平地区の町内会（工藤広美会長）では役場職員のご協力を頂いて、万一に備える為に避難所でのテントの組み立て、又ベッドやトイレの組み立て、処理の方法など説明して頂きました。そのほか、地震が発生した場合は倒れた家具による事故防止や台所など戸棚等、倒壊した時のセモノ破片などによる足のケガを防ぐためにスリッパを履くように、などでした。



昔は災害は「忘れた頃にやってくる」のことわざでした。しかし今は「災害は毎年やってくる」のようであります。進む地球温暖化によるもの、とも言われています。

今年は秋田県や山形県が大雨による甚大な被害を。私たちの地域にも昨年も。

そして一昨年は甚大な被害。いつ何があるかわからない万一の災害に備え、町の防災マップを参考に防災力を身につけて頂きたいと思えます。

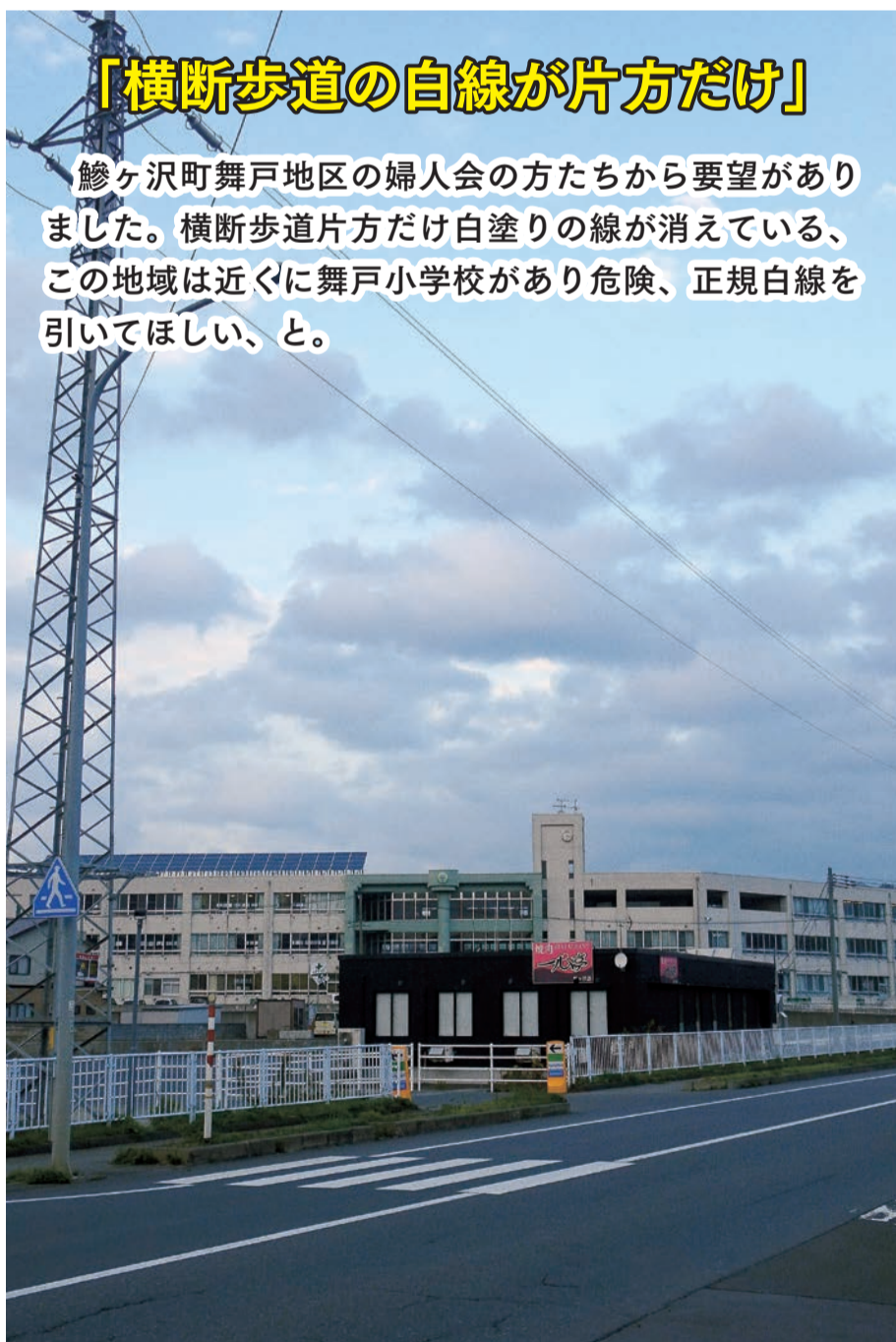
この事業は令和元年10月25日、私、工藤兼光と下村県土整備部次長（次の年に部長）が平田町長の要請を受け鱒ヶ沢管内の現場視察を行った際、県では用地取得が可能となれば当該事業を再開する方針としたところです。その後令和元年より、用地取得の可能性について、町と連携しながら関係者に対する意向確認を始め、令和2年度から測量及び設計等を進めるとともに、令和4年度には、関係者との用地交渉を開始しました。その結果、すべての関係者から協力を得ることはできなかったものの、急カーブの解消が可能となったことから令和6年度から工事に着手したところです。今後も早期完成に向け関係機関と連携しながら頑張っていきます。



「松代町陸奥赤石停車場線」

「横断歩道の白線が片方だけ」

鱒ヶ沢町舞戸地区の婦人会の方たちから要望がありました。横断歩道片方だけ白塗りの線が消えている、この地域は近くに舞戸小学校があり危険、正規白線を引いてほしい、と。



「正規に白線が引かれた横断歩道」

要望を受け、すぐ河川事務所を訪ねました。白線は県土整備部だと思ったからです。しかし横断歩道は警察の所管だとのこと。県土整備部に連絡を取っていただき、警察に出向き、あっという間に正規の横断歩道が完成しました、ありがとうございました。



自転車のスマホ・酒気帯び

罰則強化

令和6年11月1日

道路交通法改正



自転車運転中の新たな罰則

携帯電話使用等

最大1年以下の懲役又は30万円以下の罰金

酒気帯び運転

3年以下の懲役又は50万円以下の罰金



県民の皆さんの安全安心、事故のない社会を創るため
県警察では日夜努力を続けているのです。

ご苦労様、感謝、感謝でございます。

(警視庁、都道府県警察資料から)



電話でお金の話、それは詐欺です

警察や金融機関、役所の職員がキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞くことは絶対に無い。

ATMで還付金などを受け取ることは絶対にできない。

だまされないでね!

特殊詐欺被害は、
ほぼ毎日のように
新聞紙上に掲載されて
います。

振り込め詐欺に注意!



相談
してください

必ず
お金を送る前に

青森県消費生活センター
マスコットキャラクター
「テルミちゃん」 ☎ (Tel Me)

青森県特殊詐欺被害防止キャラクター
「サギかもくん」

消費者ホットライン

いやや!

☎ 188

青森県消費者生活センター
017-722-3343

警察安全相談電話

#9110

または
017-735-9110

警察資料から